

第7回設計方法シンポジウム

「関係性のデザイン」

オブジェクトレベルからメタレベルへ

現在のポスト工業化社会では、何をつくるべきかを問うことからデザインを始めることが求められている。また、地球環境時代を迎え、新しい人工物を創造するだけでなく、既存人工物の新たな使い方や価値を発見することも、重要なデザインの営みと位置づけられつつある。こうした認識に立つと、デザインプロセスは、与条件から解を導き出すまでのミクロなプロセスだけでなく、与条件を問い直し抽出するところから、つくられた人工物が実際に使用され、その使い方が新たなデザインにフィードフォワードされるまでをも含めたマクロなプロセスとして理解される必要がある。

今回で7回目を迎える設計方法シンポジウムでは、日本学術会議における「デザインビジョン提言」を受け、オブジェクトとしての人工物の設計を超えて、人工物互の関係、人工物と人間・環境との関係を含むメタレベルの設計を探求する「関係性のデザイン」に光を当てる。プロダクト、建築、都市、景観、情報システム等の多彩なデザイン領域の先進的な情報を共有するとともに、今後の都市・建築デザインが向かうべきロードマップについて議論を深めたい。

主催 建築計画委員会 設計方法小委員会

日時 2006年1月23日(月) 13:30~17:00
会場 建築会館ホール(東京都港区芝5-26-20)
内容

1. 開会の挨拶・主旨説明 奥田宗幸(東京理科大学)
関係性のデザインによる都市・建築の創造に向けて
2. パネルディスカッション 司会：山田哲弥(清水建設技術研究所)
関係性のデザイン オブジェクトレベルからメタレベルへ 門内輝行(京都大学)
はなれていること つながっていること そのあいだの無数の階調
住むための「場所」あるいは可能性の地形 藤本壮介(藤本壮介建築設計事務所)
地域住民との関係から生まれるデザイン 巨大ビル建設のなかで... 武田有左(建築家・多摩美術大学)
情報の視点からみた関係性のデザイン 本江正茂(宮城大学)
3. まとめ

定員 150名(申込先着順)
参加費 会員2,000円、登録メンバー2,500円、会員外3,000円、学生1,500円 *資料代含む
申込み FAXまたはE-mailにて「催し物名称、氏名、勤務先、所属、電話番号」を明記してお申込み下さい。なお、定員に達した場合のみお断りの方にご連絡申し上げます。

申込み・問合せ：日本建築学会事務局研究事業部 森田進

E-mail : morita@aij.or.jp FAX : 03-3456-2058